

「マイナビ 2021年卒大学生就職意識調査」を発表

～大手志向は2001年卒以降過去最高の55.1%。
新型コロナウイルスの影響が拡大した3月以前と以後で、就職観に変化も～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、「マイナビ 2021年卒大学生就職意識調査」を発表しました。本調査は、学生の就職意識や就職活動全体の動向を把握することを目的に、1979年卒より毎年実施しています。調査結果の概要は以下の通りです。

【TOPICS】

- 学生の就職観は、「楽しく働きたい」が35.8%（前年比2.8pt減）で今年もトップ。ただし国内の新型コロナウイルス感染拡大の影響からか、3月に回答した学生は、昨年12月から今年2月の回答者に比べ「楽しく働きたい」が減少し、「人のためになる仕事をしたい」が増加【図1、図2、図3】
- 大手志向は2001年卒以降過去最高の55.1%。関東・関西の国公立大学の学生は約7割が大手志向【図4、図5】
- 企業選択で重視するのは、「安定している」、「自分のやりたい仕事（職種）ができる」、「給料のよい」。男子学生は「安定」と「収入」、女子学生は「自己実現可能な働き方」や「福利厚生充実」を重視【図6、図7】

【調査結果の概要】

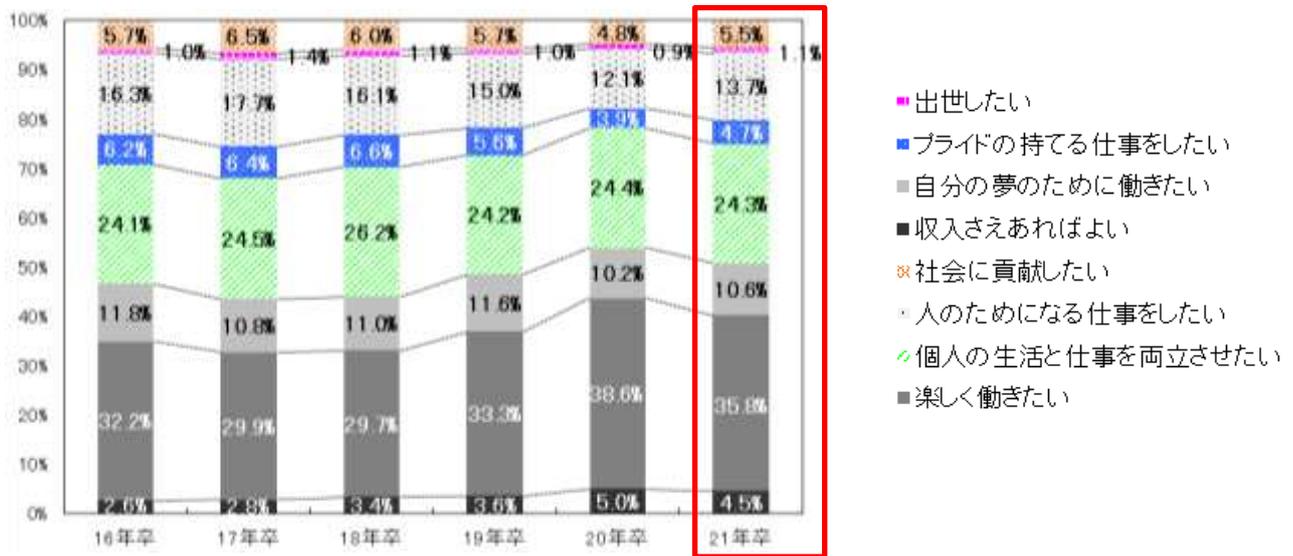
■学生の就職観は2021年卒も引き続き「楽しく働きたい」がトップ。「人のためになる仕事をしたい」が3月以降に増加し、新型コロナウイルス感染拡大の影響がうかがえる結果に

学生の就職観については「楽しく働きたい」が35.8%（前年比2.8pt減）と、2021年卒も例年同様トップとなった。次いで「個人の生活と仕事を両立させたい」（24.3%、前年比0.1pt減）、「人のためになる仕事をしたい」（13.7%、前年比1.6pt増）が続いた。

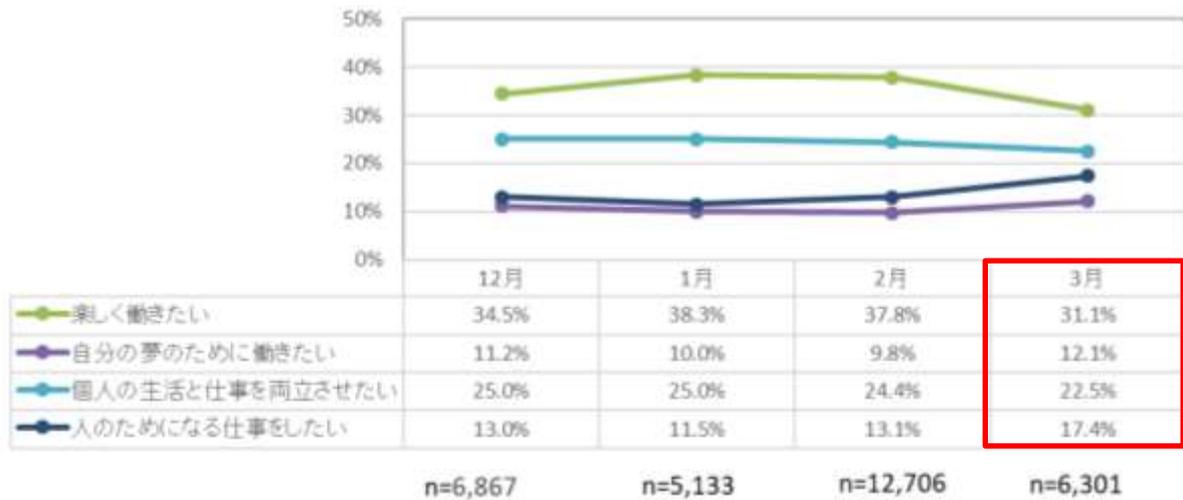
国内の新型コロナウイルス感染が拡大した今年の3月前後で回答時期を分けて調査結果をみると、3月に回答した学生は「楽しく働きたい」が31.1%、昨年12月から今年2月にかけて回答した学生と比較すると36.9%から5.8pt減少している。対して、今年3月に「人のためになる仕事をしたい」と回答した割合は17.4%で、昨年12月から今年2月に回答した12.7%に比べ4.7pt増加している。

昨年3月に回答した2020年卒学生との比較では、「楽しく働きたい」が38.9%から7.8pt減少。「人のために働きたい」は12.8%から4.6pt増と、今年3月に回答した学生の調査結果は、これまでと異なる傾向にあることがわかる。新型コロナウイルス感染拡大という社会的な状況が、学生の就職観に例年と違う影響を与えていることがうかがえる。【図1、図2、図3】

【図1】 あなたの「就職観」に最も近いものはどれですか（経年比較）



【図2】 学生の「就職観」回答月推移（上位抜粋） ※グラフ内の数値は該当する月に回答した学生における割合

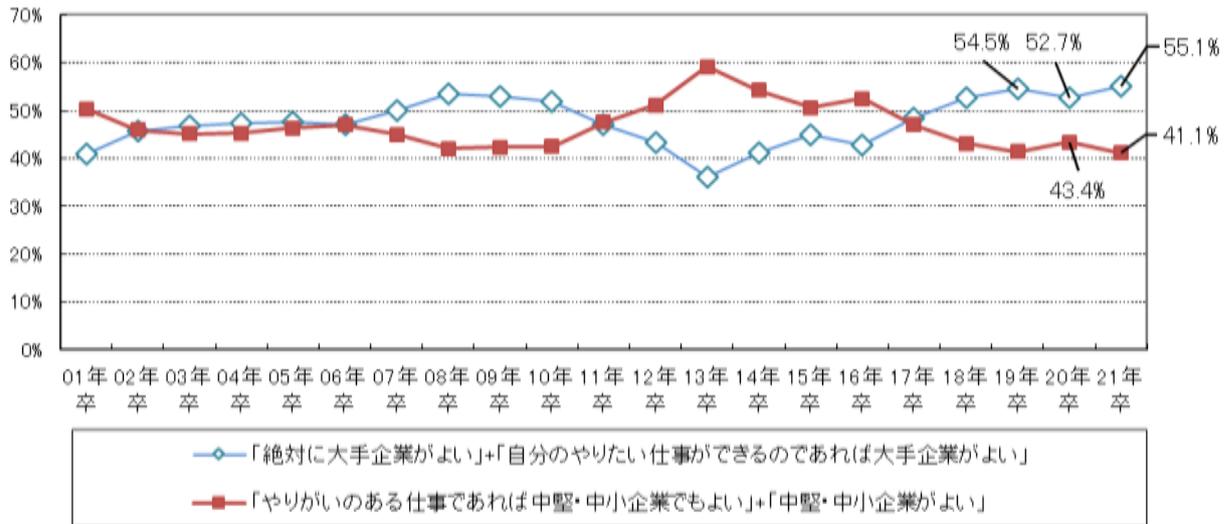


【図3】 3月前後の学生の「就職観」比較（上位抜粋）

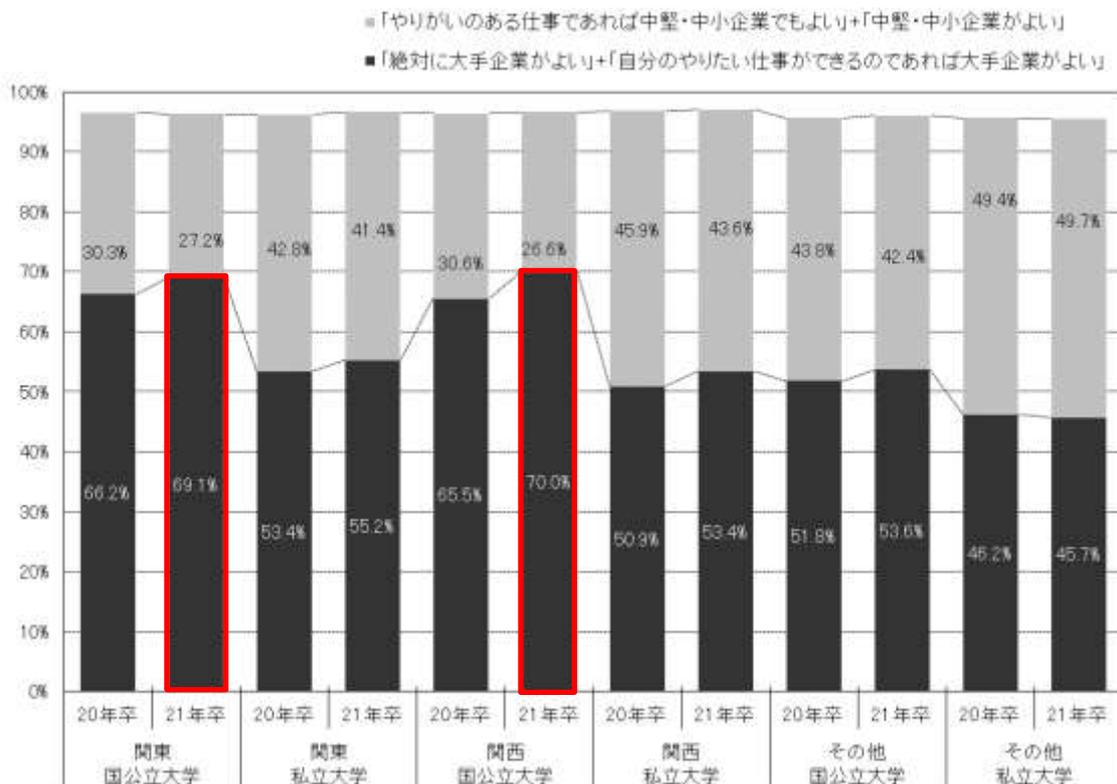
	21年卒12月～2月	21年卒3月	20年卒12月～2月	20年卒3月
回答数	24,706	6,301	29,009	19,055
楽しく働きたい	36.9%	31.1%	38.4%	38.9%
自分の夢のために働きたい	10.3%	12.1%	10.0%	10.6%
個人の生活と仕事を両立させたい	24.7%	22.5%	25.0%	23.5%
人のためになる仕事をしたい	12.7%	17.4%	11.7%	12.8%

■大手企業志向が2001年卒以降過去最高の55.1%。関東、関西の国公立大学の学生は約7割が大手志向
 前年は売り手市場ながらも高止まり感を見せていた大手企業志向（「絶対に大手がよい」+「自分にやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい」の合計）であったが、2021年卒では55.1%（前年比2.4pt増）と、2001年卒以降で最も高い結果となった。中堅・中小志向は41.1%と2.3pt減少している。特に大手企業が多い関東・関西の国公立大学は約7割が大手企業を志望している。【図4、5】

【図4】学生の企業志向について



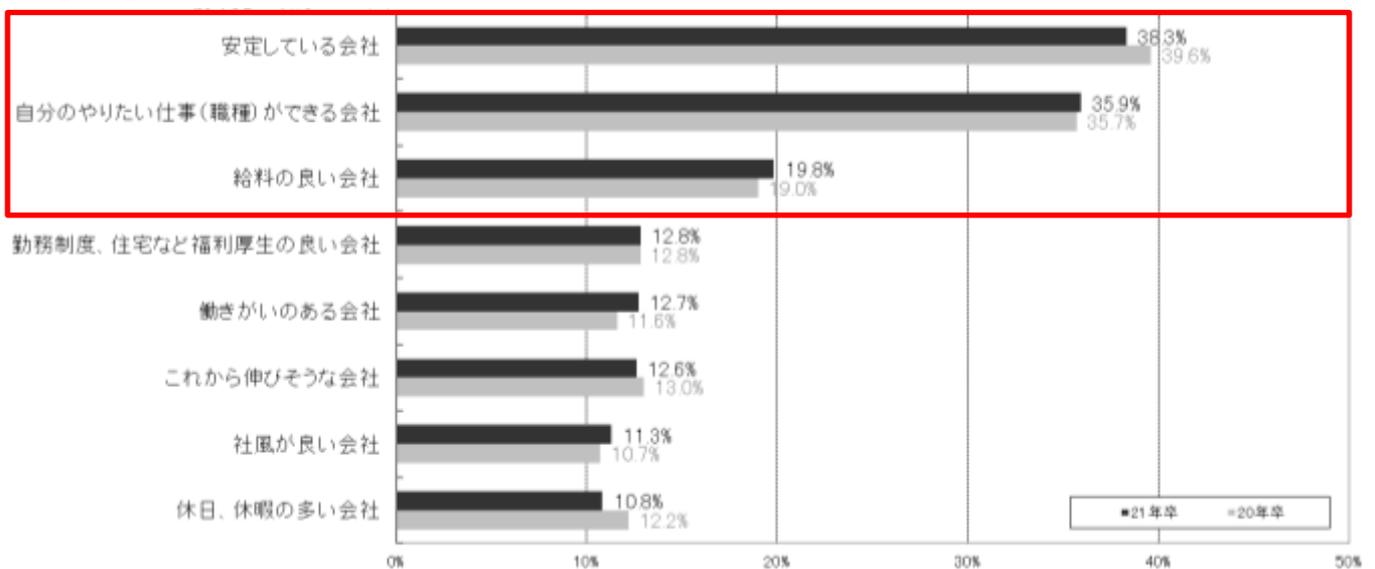
【図5】国公立私立別の大手企業志向の割合



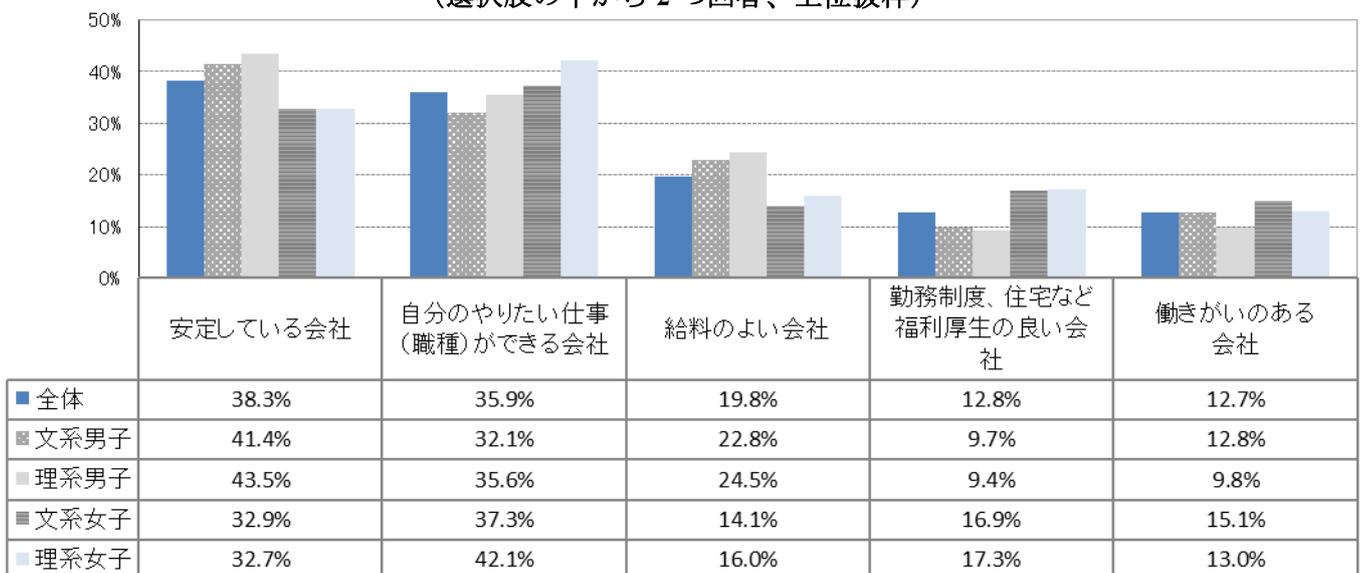
■企業選択時のポイントは「安定している」、「自分のやりたい仕事（職種）ができる」、「給料のよい」企業選択にあたり、どのようなポイントを重視するか尋ねたところ、「安定している会社（38.3%、前年比1.3pt減）」が微減ながらも前年に続きトップとなり、男女文理別では、文系男子（41.4%）・理系男子（43.5%）に対し、文系女子（32.9%）・理系女子（32.7%）と男女で大きく差が開いた。男子学生の方がより安定を求める傾向にあるようだ。3位にランクインした「給料のよい会社（19.8%、前年比0.8pt増）」においても、文理ともに男子学生が女子学生を大きく上回る結果となっており、男子学生は女子学生よりも「安定」と「収入」を求める傾向が強いことがうかがえる。

一方、「自分のやりたい仕事（職種）ができる会社」や、「勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社」、「働きがいのある会社」は女子学生の割合が高く、自己実現可能な働き方や福利厚生の充実を重視しているようだ。【図6、図7】

【図6】企業選択をする場合、どのような企業がよいと思うか（選択肢の中から2つ回答、上位抜粋）



【図7】<文理男女別>企業選択をする場合、どのような企業がよいと思うか（選択肢の中から2つ回答、上位抜粋）



【「マイナビ 2021 年卒大学生就職意識調査」概要】

- 調査対象：2021年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生（調査開始時点）
- 調査期間：2019年12月1日～2020年3月20日
- 調査方法：WEB入力フォームによる回収
- 有効回答：31,007名（文系男子8,133名、文系女子13,446名、理系男子5,458名、理系女子3,970名）

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認ください

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
社長室 HR リサーチ部
Email：myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
社長室広報部
Email：koho@mynavi.jp